

議事要旨(3) IASB 公開草案「負債の分類 IAS 第 1 号の修正案」へのコメント対応

冒頭、関口常勤委員より、IASB 公開草案「負債の分類 IAS 第 1 号の修正案」（以下「本公開草案」という。）へのコメント対応について概要の説明がなされ、続いて、田野専門研究員より、審議資料に基づき詳細な説明がなされた。

説明に対する委員からの主なコメントと、それらに対する事務局からの回答は次のとおりである。

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - 審議資料において、「借換え」は負債の決済を伴うとされており、この点においてロールオーバーとの差異は明確であるように見受けられるが、コメントレターの文案では「ロールオーバー」と「借換え」は経済的な意味において実質的に同等という記載もされている。この点、両者の記載は矛盾しているのではないか。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- 「ロールオーバー」と「借換え」の区分は、IASB の審議を適時にフォローしている限りにおいては理解し得るものの、一般的には、両者は必ずしも明確に区分されて用いられている訳ではない。他方、本公開草案では、両者について異なる取扱いを想定していることから、コメントレター案では、本公開草案における修正の意図を一層明確にする観点から両者の差異を明確化することを提案している。

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - コメントレター案において、本公開草案の提案には一層の明確化を提案している項目があるという指摘をしているにもかかわらず、当該提案を概ね支持する旨が記載されている。一層の明確化が必要な項目があるとするれば、本公開草案の提案を概ね支持するという旨を記載するのは不適切ではないか。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- コメントレター案において一層の明確化が必要としている項目には比較的重要性が高い項目が含まれていることから、本公開草案の提案を概ね支持する旨の記載を削除する方向としたい。

最後に、事務局が本日の委員会での委員からのコメントを踏まえてコメントレター案について必要な修文を行うことを前提に、コメントレターをコメント募集期日中に IASB に提出することが了承された。

以 上